

長浜教区・五村別院・長浜別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌概要

1 法要名称

長浜教区・五村別院・長浜別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

2 法要期間

2019年5月10日(金)～12日(日)〈五村別院〉

2019年5月17日(金)～19日(日)〈長浜別院〉

※ 五村別院・長浜別院ともに2昼夜で厳修。

※ 報恩講とは別に厳修する。

※ 御親修とする。

3 長浜教区・五村別院・長浜別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の願い

—生きる力を伝えよう—

長浜教区は古くより長く日本の政治や宗教、文化の中心であった畿内と東国、北国を結ぶ結節点として、先駆的な文化や風土が育まれてきた地域である。このような文化や風土を基盤として、蓮如上人のご化導から生まれた「念仏講」の組織は、親鸞聖人が顕かにされた本願のみ教えに生きる多くの念仏者を生み出した。そしてそのことを、私どもの先達は正信偈・御文のお勤めや講での談合(信仰座談)の中で確かめ、伝えてこられた。人が「願う」ことはその人の生きるエネルギーとなるが、とりわけ、「真実を願う」こと、つまり、「本願」は私を根底から支え生かす原動力となる。

宗教の世俗への埋没化が危惧され、「いのち」や「生きる方向性」が見失われがちな今日、本願念仏に生きてこられた私どもの先達の生き様と寺院建立の願いを訪らい、自らの信心を確かめつつ、本願念仏の教えが世に弘まり、後世に確かに伝えていくことを願い、この御遠忌を勤める。

4 テーマ・スローガン

(1) テーマ 『今、いのちがあなたを生きている』

(2) スローガン 『いただく あわせる 掌のぬくもりを』

5 御遠忌法要の基本方針

(1) 長浜教区・五村別院・長浜別院が教別一体となり、2019年5月10日から12日及び2019年5月17日から19日まで御遠忌法要を厳修する。

(2) 2015年7月から2019年5月の御遠忌厳修までを「お待ち受け期間」とし、従前の教区教化事業等を「お待ち受け事業」と位置づける。

(3) お待ち受け事業、讃仰事業では地域の歴史と特色を活かし、独自性に富んだ活動を行う。

(4) 御遠忌厳修後は、教区内の各寺院において御遠忌法要が厳修されることを願う。